

idea

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア

2014
3月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | いちのせき市民活動センター活動紹介
- 3 | 団体紹介～大東め組太鼓～(大東)
- 4 | 地域紹介～一関16西区～(一関)
- 5 | 企業紹介～お弁当のまんまや～(千厩)
- 6 | 歩が行く～第5回館ヶ森風祭り～(藤沢)

いちのせき市民活動センター

活動紹介



- ①市民活動相談支援
- ②情報発信・収集、啓発支援
- ③地域への参画支援
- ④話し合い支援
- ⑤他事業との連携
- ⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、
行っている活動をご紹介します。

2月8日は、NPO活動の運営に係る悩みを聞き、解決に役立てていただくとうと、「NPOなんでも相談会」を開催。盛岡市のNPO法人シニアパワーいわてから、金融・行政機関のOBである会員さん4名を相談員にお招きし、相談に訪れた団体の方から総務や経理等2時間に亘り幅広い相談を受けました。

相談を終えた方からは、「抱えていた悩みが軽減された。これまでの構想を整理すると共に、地域の要求や需要の収集等に取り組んでいきたい」「法人化にあたり、始まる部分で教わった。これを機に組織内で協議を深め、必要な部分は相談機関に再度相談したい」等の感想が寄せられ、お悩み解決への足掛かりにさせていただきました。

信頼される運営を目指して

講座紹介 NPOなんでも相談会



相談会の様子

室根地域で平成24年に発足した「室根まちづくり協議会」では、昨年8月に3種類の住民アンケートを実施。アンケートの中には「結果を地域住民に報告して欲しい」との声が多く寄せられ、2月12日から5つの旧小学校区別にアンケートの報告会を行っています。

当センターでは、アンケートの結果が住民により伝わりやすくなるよう、同協議会と相談しながらアンケート結果の「見える化」をサポート。3種類のアンケート結果を1つのスクリーン上で見ることができるようになりました。また、報告会で住民から出された意見等も書き出し、大切な声がいっしょに残るようになっています。この意見が次の活動につながることを期待します。

「見える化」をサポート

協働の取組み 室根地域 住民アンケート報告会



報告会の様子

「NPOってボランティアじゃないの?」「非営利だから儲けていけないんじゃないの?」という疑問とともにNPOの基礎的な部分と社会的役割を知ってもらうため、小野寺センター長が大東高校情報ビジネスセンターの2年生を対象に講演を行いました。同校はキャリア教育に力を入れており、地域食材を使用した、商品開発・販売を通し地域活性化に貢献する取組の一環として「がんばっぺいわて!」の主体的企画運営に取り組んでいます。

講演では、NPOが職業の選択肢の一つになることを学び、これまでの活動を各々振り返りながら、生徒は真剣な眼差しで聞き入っていました。最終学年となる来年度、生徒の活躍を期待したいと思います。

NPOは職業選択の一つ

キャリア教育講座 大東高校情報ビジネス科講演



講演を聞き入る生徒

大東め組太鼓

団体 紹介



菊池みゆきさん(写真中央)
と団員の方々

～基本情報～

- ◆会長：菊池みゆきさん
- ◆連絡先：味処「えび松」
〒029-0711 一関市大東町大原字川内 56
- ◆電話：0191-72-3955

一関・大東大原水かけ祭りを力強い太鼓で応援 三世代が共に力を高め合い、絆を深めあう練習の場

熱い祭りをさらに熱く！
一年で一番の大舞台

2月11日の冬晴れの日。大東町大原地区では、厄落としや無病息災、震災復興等を願う裸男達が商店街を駆け抜ける「一関・大東大原水かけ祭り」を開催。出店に呼び込む人の声や歓声等が飛び交い、商店街がお祭りムードに包まれる中、太鼓の演奏で祭りを更に活気付け、20年近くに亘り、祭りを支え続ける大東め組太鼓の活動を紹介します。

大東め組太鼓は、水かけ祭り保存会から「太鼓で祭りを盛り上げてほしい」と頼まれたのをきっかけに、平成7年に設立。菊池みゆき代表を中心に、小学生から大人まで男女15名の会員で組織され、毎週1回、大原公民館で1時間半の練習を行い、腕を磨いています。

「お客さんから『良かったよ』という感想を貰えた時が一番嬉しい」と話す菊池さんは、鹿児島県から大原に嫁ぎ、ご主人と共に飲食店を経営。「大原に来て間もない頃は、地域に知り合いが一人もいなかったが、め組太鼓を通じて繋がりができた」と昔を振り返ります。女性団員は皆、地区外から嫁いで来た方々で、

活動を通じて多くの絆が生まれました。親を通じて子どもも入団しますが、中学校に進学すると部活動が忙しくなり、やむを得ず退団する方が多いそう。「団体の活動を次の世代へ繋ぐ、若い方に加わって欲しい」というのが願いです。

水かけ祭りと共に成長、 元気を与える太鼓の音

同団体もつ曲目は、水かけ太鼓、風雪、響の3つで、曲は地元出身の千葉一太郎先生、衣装は裁縫が得意な会員が手作り。今年の水かけ祭りでは、ステージイベントの最初と最後を飾り、息の合った力強い演奏で観客の注目を集めました。19年前の初舞台を振り返ると、練習を始めて間もない為、「楽譜をこっそり隠し見ながら太鼓を叩きました」と懐かしい思い出を語る菊池さん。

毎年出演が恒例となっている一関・大東大原水かけ祭りのほか、各種太鼓フェスティバル、地域行事等にも参加。東日本大震災直後は、大原川内地区の有志の方で運営する「そばの会」と一緒に陸前高田市や広田町の仮設住宅へ行き、手打ち蕎麦を御馳走した後に太鼓を叩き、復興への気持ちを後押ししました。

姉妹都市との交流を通じ、
大原の太鼓を広めます

過去に行った活動の中で、印象に残っているのは姉妹都市との交流。島根県の「大原大東町」、大阪府や静岡県の「大東町」に出向き、お互いに太鼓を発表し合い、今でも一関・大東大原水かけ祭りに参加しに来る等、交流が続いています。

「大東め組太鼓は、演奏を見られるお客様の笑顔を励みに、日々練習に励んでいます。来年は、より一層、一関・大東大原水かけ祭りを太鼓で熱く盛り上げることを目指し、練習に力を入れてまいりますので、是非、お祭りを見に来てくださいと抱負を話してくれました。」



一関・大東大原水かけ祭りで太鼓の演奏を披露する、大東め組太鼓の皆さん

地域紹介



尾形 洋 さん

～基本情報～

- ◆区長：尾形 洋 さん（4期7年目）
- ◆一関市内中心部で268世帯584人が暮らす一関16西区では、東日本大震災をきっかけに、防災活動への取り組みが大きく変化しています。

3. 11を契機に防災の強化・充実を図る

約3割がアパート世帯

地区内に一関修紅高校があり、市中心部の地主町と大町の交差点の北東に位置する一関16西区は、昭和50年に一関16区が3つ（東・中・西）に分割されて誕生しました。実に約3割がアパート世帯で、他の地域に比べ住民の入れ替わりが多いという特色があります。

運動会や盆踊りは現在も16区の3つの地区合同で行われていますが、16西区としても、廃品回収や芋の子会の他、一関夏祭りには子供みこしに参加するなど、PTAと協力しながら様々な活動を行っています。そんな16西区の活動に大きな転機が訪れたのは、平成23年3月11日のことでした。

3週間後に広田へ炊き出しに

「自分たちで何か手伝えることがないか」と考え、民区の青婦部とPTAを中心としたメンバーが、陸前高田市広田町へ炊き出しに訪れたのは震災発生からわずか3週間後の4月3日のこと。現地は停電と断水がまだ続いていました。前日から食材の準備をして、炊込みご飯や豚汁などを昼食として振る舞った炊き出しは、広田の皆さんを力づけました。

区長として炊き出しに同行した尾形さんはその時の体験を「どこが道路かもわからないような場所もあった。被災地を目の当たりにして自然災害の恐ろしさを痛感させられたし、『気の毒に・・・』という言葉しか出てこなかった。」と振り返ります。

『高齢者支援者名簿』と『近助』

炊き出しから戻ってきた尾形さんは、「この震災を契機とし、防災を民区の重要課題として防災組織の強化・充実を図っていかなくてはならない。」と考え、他の民区では防災にどういった備えをしているかについてよその区長さん方から話を聞き、民区で協議しながらさまざまな手を打ち始めました。

平成23年9月には防災マップを作成・配布。また、同年11月に全世帯を対象に実施した防災に関するアンケートは回収率50%を超え、住民から生の声が寄せられました。中には民区や役員への不満や改善要望といった厳しい意見もありましたが、アンケート結果を真摯に受け止めることで防災マップの改善や更なる防災の取り組みに繋がっています。16西区独自の自主防災会も立ち上げ、防災訓練と芋の子会等を組み合わせる工夫や、各種防災用備品や防災用具収

納庫の整備も進められています。

中でも特筆すべきは「一関16西区高齢者災害等緊急時支援者名簿」。これは民区の80歳以上の方一人ひとりに各3人ずつの確認者を決めて名簿化したもので、緊急時には確認者が自分の担当する高齢者の安否確認等を行うシステムです。毎年更新されますが、背景には「いざという時、家族はもちろんだが『遠くの親戚より近くの他人』が頼り。高齢者を地域で見守り助け合う『近助』が大事」という考え方があります。

「何事も健康でさえあれば何とかなる」現在一関市民合唱団の団長も務め、演奏会前には週5回の練習が入る事もある尾形さんはそう話しながら、「アパートも多くコミュニケーションが難しい面はあるし、自主防災会や防災訓練への参加者も減少傾向という課題もある。若い世代にも『自分の民区』として参画意識を持ってくれる人が増えるような活動をしていければ」と、今後を見据えています。



防災訓練の様子

お弁当のまんまや

企業紹介



販売促進マネージャー
千葉 恵子さん (右上)
とスタッフの皆さん

～基本情報～

- ◆代表者： 棚橋 とき子 さん
- ◆住所： 〒029-0803
一関市千厩町千厩字町 12 スカイビル 1F
- ◆TEL & FAX： 0191-48-3113
- ◆開業： 平成 22 年 12 月 12 日

地元母ちゃんたちの愛情弁当を笑顔でお届け

チャレンジ母ちゃん現る

平成22年12月から、いちのせき元気な地域づくり事業「新規店舗開店等支援事業」を活用し、一関市千厩町本町の空き店舗にオープンしている、「お弁当のまんまや」。スタッフは、地元に住む40代から50代の主婦の方10名で、今日も笑顔で愛情弁当を作りお届けしています。

しかし、スタッフの笑顔の裏には、さまざまな背景がありました。

平成21年の年末、一関市千厩町のソニー製造子会社「ソニーイーエムシーエス千厩テック」の閉鎖により、「県外への配置転換か退職か」と選択を迫られ、家庭を優先し退職を希望した地元の母ちゃんたち。「これから、どうしていけばいいのだろう」と不安を抱え、希望を失いかけていたころ、奥玉公民館を会場に、同社退職者の集まりを兼ねた「エンパワメント講座」が開かれました。

同じ社内でも、部署が異なり交流が少なかつたメンバーでしたが、情報交換を中心に地域活動や福祉ボランティアなどの講演の拝聴、視察研修などを通し、「この仲間と新しい仕事にチャレンジしたい」という気持ちが生えてきたのです。

出会いと気づき

開業のきっかけとなったのは、同講座の中で、女性の起業を学び視察研修に参加したことでした。

山形県酒田市の地元食材を使用し、手作り弁当を販売している農家主婦グループと出会い、「その活動に衝撃を受けた」と語る、まんまや販売促進マネージャーの千葉さん。「視察中、先輩女性の『要はやる気だよ！まだまだ若いんだから、絶対できる！』という言葉が印象的で、不安が希望へと変わり『前向きに挑戦しよう』と背中をグツとおされた気がしたのよ。」と当時を振り返ります。

研修後は、主婦として料理の経験を活かし、『地域の美味しいお米、季節野菜などたくさんの食材』に注目。また、『高齢化が進み独居老人が増えている』という地域の状況に気づき、スタッフの半数がホームヘルパーの資格を取得し、高齢化社会に対応した「宅配弁当のお店」の立ち上げに絞り込み、勉強を重ねました。

つながれ広がれ笑顔の輪

地元米と地元野菜を活かした「家庭の味」にこだわりを持っている「お弁当のまんまや」は、高齢者用に薄

味で食べやすい大きさのお弁当を作るのはもちろんのこと、地域内外の企業、団体へボリュームのあるお弁当も製造、販売、宅配しています。

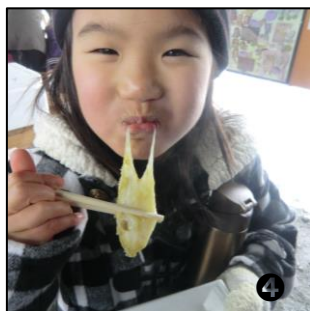
開店後は、市内でも珍しがられ取材が殺到。軌道に乗り始めたその矢先、東日本大震災が発生しスタッフも大混乱となりました。停電や断水の中「食材はある」「今立ち上がりなくどうする」という思いから、手元にある食材を工夫し、お弁当づくりを再開。被災者や被災地へ向かうボランティア団体への宅配弁当を続けました。スタッフは不眠不休で疲労もピークでしたが、「困った時はお互い様」の近助精神を奮い立たせ、震災後は地域内の自治会と一緒に沿岸部へボランティア向かい、豚汁などのお振舞を行い、地域を通り越して、人と人とのつながりも大切にしています。

店内には交流の場として飲食コーナーも併設。「私たちは、経営もお弁当作りも素人だから人一倍勉強しないと」と語り、「3年間の経験を基にこれからも進化を続けていきたい」と力強い今後の抱負を語る千葉さんの姿に、地域という大きな家庭の母として温かいまなざしが感じられる取材となりました。

◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

歩 が 行 く

◆今回は藤沢町黄海地区の第5回館ヶ森風祭りに潜入しました◆



④



③



②



⑤



⑥



マシロちゃんです♪

①



①生後2か月のヤクの赤ちゃんが、お目見え。人懐っこくて、かわいい。牛の仲間らしいですが、ヤクの毛はふわふわして羊のようでした。

②本日のイベントは、写生大会と凧揚げ大会。長女は、真剣に「ヒトコブラクダ」を観察中。

③地元の曲田自治会の方々が、つきたてのお餅や、はっとう汁をお振舞。寒さの中、準備ありがとうございました。本当に心が温まります。

④「う～ん。つきたてのお餅は美味しいなあ」と満足な様子の次女。藤沢町産のもち米は6升使用したとのこと。あんこやきな粉、ふすべ餅など、いろいろな味が楽しめました。

⑤町内からのゲスト、徳田田植え踊り保存会が田植え踊りを披露。田植え太鼓と、しの笛の音色が白銀のサファリパークに響き渡りました。

⑥こちらは、午後の凧揚げ大会に参加した親子。花泉町からいらした佐々木さんファミリーです。手作り凧が非常に良く仕上がっています。

■ 白銀の岩手サファリパークを堪能

今回私が潜入させていただいた、「第5回館ヶ森風祭り」は、エコー館ヶ森が主催しているイベントで、第1部が「館ヶ森高原ホテルと館ヶ森アーク牧場」をメイン会場として2月2日(日)に、第2部は、「岩手サファリパークとペンショングリユーボーデングヶ森」をメイン会場として2月9日(日)に開催されました。

「風祭り」主催のエコー館ヶ森(橋本志津代表)は、一関市藤沢町の館ヶ森エリア周辺の観光関連8業者で組織され、冬の館ヶ森の魅力発信と、にぎわい創出につなげようと企画。今年で5回目の開催となりました。私は、第2部の岩手サファリパークで行われた、写生大会に子どもたちと参加。大きな動物たちを間近で観察し、うさぎなどに触れ合いながら、真剣な表情で描いていました。

第2部の会場となった岩手サファリパークは、平成20年4月に開園し、平成25年に5周年を迎え、記念イベントとして、一関市民を無料招待したことは記憶に新しい出来事で、地域貢献活動事業にも力を入れています。イベント当日も、地元自治会の協力の中、ホカホカの焼き芋や出来立てのお餅、はっとう汁など郷土料理のお振舞もあり、地元のお母さん方と一緒に和気あいあいとイベントを進行している同サファリパーク支配人菅野さんの温かい人柄を感じられる一面も。写生大会の表彰式では、なんと！長女が3位に入賞し素敵な景品もいただきました。

今回のイベントを逃したみなさん！冬の館ヶ森風祭りすごく楽しめますよ！ぜひ来年は足を運んでみてはいかがでしょうか？

イベント ボランティア 情報コーナー



津軽じょんがら舞踊絵巻

山田ファミリー新星劇団 2014年全国ツアー岩手公演が決定!! 心にしみるふるさとの民謡、心揺さぶる津軽三味線のバチさばき、粋でいなせな舞姿が堪能できます。ぜひ、ご近所お誘いの上ご来場ください!!

【日時】平成26年3月2日(日)
開場:午後1時/**開演:**午後1時半
【場所】一関文化センター
【料金】S席3,000円 A席2,000円
【問合せ】高橋芸能企画
【電話】0197-85-3189

コーヒー&ココア講座

いつものコーヒー、いつものココアが家庭でも美味しく味わえるコツが学べます。講師は、自家製焙煎珈琲店ちやふ店主の小原憲二さんをお招きします。申込み期限(平成26年2月28日(木))内に下記問合せ先までご連絡ください。

【日時】平成26年3月6日(金)
【時間】午後7時~午後9時
【場所】一関勤労青少年ホーム 調理室
【料金】800円(材料費)
【持ち物】エプロン・筆記用具
【問合せ】同ホーム 0191-21-2144

第29回一関民俗芸能祭

一関市内に伝わる伝統的な神楽などを披露する一関民俗芸能祭も今年で29回目を迎えました。市野々神楽同好会や達古袋神楽など11団体が地域に伝わる神楽で観客を魅了します。ぜひ、ご家族ご近所お誘いの上ご来場ください。

【日時】平成26年3月9日(日)
開場:午前9時/**開演:**午前9時半
【場所】一関文化センター 大ホール
【料金】前売り800円 当日1,000円
【問合せ】一関民俗芸能団体協議会
【電話】同事務局 阿部 0191-21-2555

音楽の絵本

春休み親子のコンサート! 金管5重奏のズーラシアンブラスと弦楽4重奏の弦(つる)うさぎ...動物たちが織り成す不思議なクラシックコンサート「音楽の絵本」の世界へ親子で遊びに来ませんか?

【日時】平成26年3月15日(土)
開場:午後1時15分/**開演:**午後2時
【場所】一関文化センター 大ホール
【料金】大人1,000円(当日1,300円)
 子ども500円(当日800円)
【問合せ】0191-21-2121

地球っ子広場ピースらんど

春休み特別企画~エコ風呂敷講座~今年も風呂敷を楽しみましょう!! 風呂敷によるファッションショーも予定しています。春休みの一日、ご家族で日本伝統の風呂敷の素敵な使い方を再発見してみませんか?

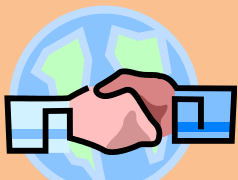
【日時】平成26年3月23日(日)
【時間】午前10時~正午
【場所】石と賢治のミュージアム「太陽ホール」
【料金】参加無料
【問合せ】石と賢治のミュージアム
【電話】0191-47-3655

一関市博物館

テーマ展開催中!!

「語りかける絵の世界 近代美術コレクションから」と題し、一関博物館では、1月25日から3月30日までの期間テーマ展を開催しています。矢野茫土の日本画、福井良之助による版画、白石隆一の油彩画など展示しています。

【日時】平成26年1月25日(土)~3月30日(日)
 午前9時~午後5時(入館は午後4時まで)
【場所】一関市博物館
【料金】一般300円 高・大学生200円
 小・中学生100円(市内の小・中学生無料)
【問合せ】同博物館 0191-29-3180



一関市管内で活動している地域団体のボランティア募集です。

詳細等はお問い合わせ先にご確認ください。



一関市少年少女発明クラブ

一関市少年少女発明クラブでは、少年少女に対する「ものづくり」の指導をしてくれる有償ボランティアを募集しています。

【日時】毎月2回程度(土日)
 1回/2時間程度
【場所】発明クラブ教室、一関公民館、真柴コミュニティセンター
【報酬】2時間で1,000円ほど
【問合せ】一関市少年少女発明クラブ事務局 千葉 邦夫
【電話】0191-26-4928

お弁当屋さんのボランティア

NPO法人ワークハウス雲では、同法人が運営する「雲の弁当屋」の簡単な調理やお弁当の配達を手伝ってくれるボランティアを募集しています。下記までお気軽にお問い合わせください。

【日時】毎週火曜日・金曜日
 午前10時~午後1時
【場所】雲の弁当屋とその周辺
【報酬】交通費(要相談)
【問合せ】NPO法人ワークハウス雲 担当 渡邊 知子
【電話】090-7073-4985

いちのせき 市民活動センター

センターの連絡先はこちら



住所：一関市大町 4-29
なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400
FAX：0191-26-6415
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：6名

ホームページ：<http://www.center-i.org/>

せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら



住所：千厩町千厩字町 149
電話：0191-48-3735
FAX：0191-48-3736
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：3名



メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp

FMあすも

小野寺センター長出演の「人そだて地域そだて」のコーナー（毎週水曜日、11時半～）の一部をご紹介します。

◆2月18日「地域行事に関する世代間ワークショップ」
2月13日開催の「奥玉地区生涯学習に関する推進懇談会」では、三世代が集まり「地区行事への参加率を高めるために」をテーマにワークショップを行いました。参加率を上げるには、地域の方の意見を吸い上げ、行事のあり方の見直し、今ある行事を整理整頓することが大切です。大変な作業ですが、人が減っている今だからこそ行わないと、5年後、10年後にはできなくなってしまいかも知れません。「どうしたらできるか」という意識をもつことも大事ですね。

お知らせ

◆地域情報誌「idea」のイベント・ボランティア情報コーナーに掲載してみませんか？

「地域内で開催するイベントにボランティアスタッフを募集したい。」「こういった集まりがあるので、多くの方々に参加してほしい。」など、一関市内の市民団体や企業の地域貢献イベント、団体活動や講座の開催告知など、自由に情報を発信できるスペースがございます。毎月15日までに当センターに連絡いただくと、当月に掲載することが可能です。詳しくは、センター・サテライトまでお問い合わせください。

今月の表紙



2月11日に開催した「一関・大東大原水かけ祭り」の写真です。走る支度を整えた男達が、大東公民館から列をなして勇ましく入場しています。

編集後記

2月17日、せんまやサテライトでは、地域づくり講座Ⅱ「情報発信のススメ」と題し、スタッフ3名が情報発信の様々な手法や、発信のポイントなどをお話させていただきました。たくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。また特別ゲスト「hanauta」編集・発行の(有)光成工業 代表取締役村上社長、センマイラボ事業部 清水さんお忙しい中、貴重なお話し誠にありがとうございました。

3月のまちのお知らせ

1	ばちばちおはなし会 (千厩)	16	生活物資リサイクル集団回収 (藤沢) 東磐井地区6人制バレーボール選手権大会 (千厩)
2	生活物資リサイクル集団回収 (藤沢) わくわくセミナー閉校式 (藤沢) 千厩地区民祭 (千厩) 磐清水梅の里地区民祭 (千厩)	17	
3	花泉ふれあい会「すずらんサロン」(花泉)	18	
4	てんとう虫教室「調理実習・アート交流(遊書・絵画)・閉講式」(川崎)	19	子育てサークル「れっくる」(大東) 大人の音楽教室 (大東)
5	子育てサークル「れっくる」(大東)	20	
6	リフレッシュヨガ教室 (藤沢)	21	
7	みんなの居場所づくり事業 「オープン講座」(川崎)	22	
8	平成25年度川崎町子ども会・育成リーダー研修会 (川崎)	23	生活物資リサイクル集団回収 (藤沢) 春バル交流 (千厩)
9	生活物資リサイクル集団回収 (藤沢) 千厩町民バドミントン大会 (千厩)	24	
10		25	
11		26	子育てサークル「れっくる」(大東)
12	子育てサークル「れっくる」(大東)	27	図書館映画会 (藤沢)
13	リフレッシュヨガ教室 (藤沢) おはなし会 (藤沢)	28	
14		29	
15		30	
		31	



あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。

Q1 協働について紙芝居があると聞きました。一度地域内で拝見したいのですが・・・

A1 ありがとうございます。協働紙芝居は昨年5月にせんまやスタッフが協働し作成いたしました。現在、協働に関する地域懇談の際にご依頼があれば上演しております。地域内で拝見したいとのこと、可能ですので、ぜひスタッフまでお問い合わせください。